

報道関係各位

Press Release 2025.3.28

Splink, inc.

ブレインヘルスケアの Splink、セルフチェック型認知機能測定ツール「CQ test®」が神奈川県「ME-BYO BRAND」に認定

- 認知機能低下を未病の段階で改善する「ブレインウェルビーイング」を推進。 -



ブレインヘルスケア領域の医療 AI スタートアップ、株式会社 Splink（本社：東京都港区、代表取締役：青山 裕紀、以下「当社」）は、当社が開発・提供するセルフチェック型認知機能測定ツール「CQ test®」（<https://www.brain-life-imaging.com/cqtest.html>）がこのたび神奈川県「ME-BYO BRAND」に認定されたことをお知らせします。

「ME-BYO BRAND」認定の意義

認知機能低下を未病の段階で改善する「ブレインウェルビーイング」を推進

神奈川県では、県民の未病改善の促進及び未病産業の市場拡大に向け、未病の見える化や未病の改善につながる優れた商品・サービスを「ME-BYO BRAND」として認定しています。特に、未病の観点での認知症へのアプローチとして、「認知症未病改善プロジェクト」を推進しています。具体的には、認知機能低下に伴う、身体機能低下、精神機能低下の悪循環を未病コンセプトに基づき改善するため、各種機能に関する早期の気付きと、維持・改善・補完などの介入を通じて、総合的に日常生活・社会生活での QOL の維持・向上を目指す取り組みを実施しています。

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社 Splink 広報担当：飯嶋 【Mail】 pr@splinkns.com

今回の認定は、CQ test[®]が認知機能低下を未病の段階で測定し、早期介入を促す技術として高く評価されたことを示しています。少子高齢化や生活習慣の変化に伴い、認知機能の低下を未病の段階で改善し、県民の「**ブレインウェルビーイング（脳の健康と幸福）**」を推進することが重要な課題とされています。働き盛りの世代から高齢者に至るまで、ストレスや不規則な生活、健康習慣の不足などが脳と心の健康に影響を与えるリスクが増加している中、ブレインウェルビーイングは、生活の質や生産性の維持に欠かせない取り組みです。

「ME-BYO BRAND」認定による今後の展開

当社は、2024年より神奈川県と共同で「認知症未病改善プロジェクト」の実証事業を展開し、産学公連携を活用した新たなアプローチを推進しています*1。

すでに CQ test[®]を活用した実証も進めており、横浜市の若葉台団地での住民向けの検証を実施しました。この取り組みでは、多くの高齢者がスタッフの補助を受けることなく、自分自身で認知機能のセルフチェックを実施することができました。タブレットやスマートフォンを活用したデジタルによる認知機能チェックは、今後さらなる利活用につながると期待されます。

こうした結果に加え、「ME-BYO BRAND」認定による信頼性も活かしながら、今後も県民の皆さまにとって受け入れやすいプロダクトの実現に向けて、実証の取り組みを継続してまいります。

「ME-BYO BRAND」認定を契機に、当社は以下の3つの領域でさらなる成長と社会貢献を目指します。

1. 「未病」改善に向けたブレインウェルビーイングの推進

- 当社の予防、検診、診断、治療、予後までを一気通貫するブレインウェルビーイング・ソリューションの提供を通じて、「認知症未病改善」の取り組みを強化

2. 実証事業の深化とデータ利活用の推進

- 神奈川県との産学公連携による生活者起点の実証事業を拡大し、CQ test[®]で得られた蓄積データをもとに、未病・後病フェーズにおける対策を高度化

3. 県民向け認知症啓発の強化

- 認定ブランドとしての信頼性を生かし、県民や地域社会に向けた疾患啓発を加速。CQ test[®]を活用した普及啓発イベントや地域連携プロジェクトを通じて、認知症の早期対策を広げる

*1: 株式会社 Splink のプレスリリース：ブレインヘルスケアの Splink、神奈川県と「認知症未病改善」共同実証事業を開始
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000037.000060865.html>

株式会社 Splink 代表取締役 青山裕紀コメント

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社 Splink 広報担当：飯嶋 【Mail】 pr@splinkns.com

「このたび、CQ test®が神奈川県『ME-BYO BRAND』に認定されたことを大変光栄に思います。本認定は、当社の技術が未病改善の観点から社会に貢献できることを証明するとともに、神奈川県の皆様の健康づくりに寄与すべく、より一層連携を深めていく大きな機会と捉えています。

神奈川県は、『未病』の概念を広く社会に根付かせる先進的な取り組みを進めており、私たちはこのビジョンに共感し、共に歩んでまいりました。今回の認定を受け、県民の皆様がより手軽に自身の認知機能をチェックし、適切なアクションを取れる環境の整備を推進していきます。

今後も神奈川県や関係者の皆様と連携を深め、認知症予防のための新たなアプローチを模索しながら、持続可能な健康社会の実現に向けて取り組んでまいります。」

セルフチェック型認知機能測定ツール「CQ test®」について

脳の状態を「認知機能」から知るセルフチェック型認知機能測定ツール

CQ test® (Cognition Quotient test) は、健常な方から受けていただけるセルフチェック型認知機能測定ツールです。脳の状態を健常なときから把握することができます。認知機能を総合的に分析することで、認知機能の面からも気づきを得ることが可能です。スマートフォンやタブレット端末など Web 接続で利用可能なテストは、10 分程度でテストが完了し、結果表示までその端末内で完結できます。解析データの保存・蓄積により、経年変化を可視化することで、より深い気づきを個々人に提供します。

一般の方向けページ：

<https://www.brain-life-imaging.com/cqtest.html>

<参考> 当社の取り組む社会課題と神奈川県「認知症未病改善」について

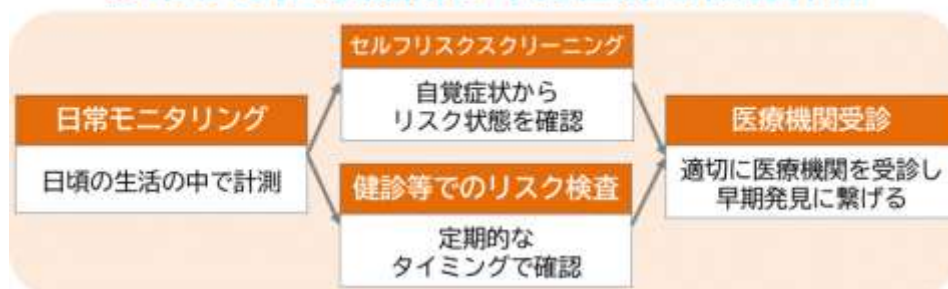
認知症と超高齢社会における課題

日本は世界的に見ても高齢化の進行が著しく、2040年には国内で約584万人が認知症を発症すると推計されています*2。認知症の増加に伴い、医療・介護費用の増大、家族や介護者の負担の増加が懸念される一方で、認知症の診断・治療を担う専門医の数は限られており、日本における認知症専門医は約2,000人*3とされ、1人の医師が3,000人以上の患者を診る計算*4になります。これにより、早期診断・介入の必要性が増す一方で、医療体制の逼迫が大きな課題となっています。

また、認知症に関連する社会的コストは年間約14.5兆円、1家族あたりの負担は年間約380万円にのぼると試算されており*5、認知症の予防・早期発見が重要な政策課題となっています。

神奈川県の「認知症未病改善」の取り組み*6

日常から医療機関まで総合的な検査体制



未病産業研究会のネットワークも活用 娯楽等も含む多様なツールを提供



【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社 Splink 広報担当：飯嶋 【Mail】 pr@splinkns.com



神奈川県は、認知症の発症リスクを低減し、県民の健康寿命を延ばすことを目的として、「未病」の概念に基づいた包括的な健康施策を推進しています。特に、生活習慣～フレイル～認知症という時間的連続性を重視し、認知症のリスクスクリーニングの普及と、個々の生活習慣に適した介入策の実施を支援しています。

この取り組みの一環として、神奈川県は産学公連携を活用し、最新の科学技術やデータ分析を活用した未病改善のアプローチを強化しています。これにより、県民一人ひとりが自身の健康状態を把握し、適切なタイミングで適切な対策を講じることができる環境づくりを目指しています。

当社は、今後も神奈川県と協力し、未病改善の取り組みを通じて、健康寿命の延伸と持続可能な医療体制の構築に貢献してまいります。

*2: 「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」(令和5年度老人保健事業推進費等補助金 九州大学 二宮利治教授)より厚生労働省にて作成された資料

*3: 「日本認知症学会」「日本精神科医学会」資格取得者合計 2021.2 時点

*4: 「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業)

*5: 「わが国における認知症の経済的影響に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金(認知症対策総合研究事業))

*6: 神奈川県「認知症未病改善プロジェクト」<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/mebyo-orange/index.html>

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社 Splink 広報担当：飯嶋 【Mail】 pr@splinkns.com

株式会社 Splink について

「すべての人につながりを、その日まで」をビジョンに、認知症をはじめとするブレインヘルスケア領域において、認知症の早期発見から診断支援まで一貫したソリューションをワンストップで提供しています。健常な方から認知機能を簡単に測定できるセルフチェック型認知機能測定ツール「CQ test®」、脳 MRI を AI で解析し、脳の中でも記憶や学習にかかわりの深い「海馬」領域の体積を測定・可視化、受診者様目線のわかりやすいレポートを届けることで気づきを促す「脳ドック用 AI プログラム Brain Life Imaging®」、脳 MRI より脳の減少度を定量・数値化することで診断に役立つ情報を提供し、診断支援をおこなう「脳画像解析プログラム Braineer®」を主力製品として提供しています。

会社名 ： 株式会社 Splink
本社所在地 ： 東京都港区赤坂 1-14-14 WAW 赤坂第 35 興和ビル 4 階
事業内容 ： ブレインヘルスケア事業、医療機器プログラム事業
設立 ： 2017 年 1 月
代表取締役 ： 青山 裕紀
URL ： <https://www.splinkns.com/>